

令和5年度 愛心こども園の事業計画と主な取り組み

当愛心こども園は「幼保連携型認定こども園愛心こども園」としてスタートしてから4年目を迎えました。そのような中で、乳幼児期が生涯にわたる身体的・精神的・社会的発達的基础を培う極めて重要な時期であり、かつ、こども園で乳幼児がその生活時間の大半を過ごすところでもあるという視点に立ち、家庭や地域社会と十分な連携をとって、情緒の安定した場所を提供すると共に、より良い人間的な発達を図るように努めています。

そのような事を踏まえて、令和5年度、心も新たに全ての子どもたちの健やかな育成、子どもの最善の利益を保障していく中から、更に子どもと家庭に優しい環境づくりを展開し、地域の子育てセンターとしての役割を十分に担い、多様なニーズに応えていきたいと考えております。

更に一人ひとりの細やかな教育・保育に力を注ぎ、延長保育、一時預かり事業、地域活動事業、園庭開放、子育て相談など、ニーズの高い保育サービスに取り組んでいきます。

そして、昨今の全国的な保育施設での不適切保育や痛ましい事故等の問題を受け、今一度日々の教育・保育に関するセルフチェックを行い、改めて自身の教育・保育を振り返りながら前年度は職員会議や勉強会などで再確認を致しました。子どもたちの大切な命と人権を守る為に、この問題は非常に重要な問題であり、単発的な話し合いで終わるのではなく、今年度におきましても継続して取り組んで参ります。

又、子どもたちが自ら考えて行動できる力を養うために、保育所保育指針幼保連携型認定こども園教育・保育要領の中でも謳われております「子ども主体の教育・保育」を実践するべく、職員への園内外の研修や実践園の見学、自己評価等にも力を入れていきたいと思っております。

以上のように保育所保育指針幼保連携型認定こども園教育・保育要領の基本を踏まえて、更に当こども園の特色を活かし、基本理念である思いやりの心（手伝う・励ます・ありがとう）の三原則を実践しながら、これからも地域に愛され、地域に根差したこども園づくりを目指して、全職員で共通理解を深め合い研鑽を重ね努力して参ります。

令和5年度 第2 愛心こども園の事業計画と主な取り組み

はじめに

こども園へ移行して4年目を迎える令和5年度、引き続き法人理念である「思いやり保育」を基本とした園運営のもと、当園の教育・保育理念である「保育は愛なり、愛は力なり」…入所する全ての乳幼児の最善の利益を図り、個としての人権、人格を尊重する…という教育・保育理念に込められている深い思いを、全職員で共通理解した上で、引き継いでいきます。

更に、乳幼児期が生涯にわたる身体的・精神的・社会的発達の基礎を培う極めて重要な時期であり、園でその生活時間の大半を過ごすところであるという視点にたち、家庭や地域社会と十分な連携をとって、情緒の安定した場所を与えると共に、より良い健やかな発達を図ることができるよう、令和5年度も気を引き締めて取り組んでいきたいと思ひます。

次に保護者支援においては、これまで同様、全ての子どもたちの健やかな育成と子どもの最善の利益を保障していくために、1号認定児も含めた子どもと保護者に優しい環境づくりを展開し、子育てに不安を感じたり、様々なストレスを感じている保護者にもしっかりと寄り添いながら、人権擁護も含めた子どもを尊重する保育を念頭に置き、共に子育てをしていくことができるよう、地域の子育てセンターとしての役割を十分に担っていきます。

3つめに職員の育成面においては、専門リーダーや分野別リーダーの役割を各職員が共通理解しながら、責任の重い保育現場で、日々懸命に働く職員の大きな励みになることができるよう努め、今年度も職員一人一人が自己を高める為の学びの姿勢をしっかりともち、仕事の役割と専門性を生かすことができるよう、職員一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。

また、27年度から取り組んでいる「人材育成支援チューター制度」も積極的に実践しながら、働きやすい職場づくりにおいてよい効果を得ることができるよう継続していきたいと思ひます。